

パブリックコメントの結果について

1 実施内容

- (1) 募集期間 令和5年12月22日（金）から令和6年1月22日（月）まで
- (2) 閲覧資料
 - ア 日立市住生活基本計画改定（素案）
 - イ 日立市住生活基本計画改定概要版（素案）
- (3) 実施方法
 - ア 市ホームページに資料を掲載
 - イ 公共施設に資料を配架（市役所本庁舎、各支所、出張所、各図書館、各交流センター）
- (4) 提出方法
 - ア 閲覧資料配架場所に設置してある回収箱に投函
 - イ 郵送、FAX、電子メール又は住政策推進課に直接持参
- (5) 周知方法
 - ア 市報（1月1日号）
 - イ 市ホームページ

2 実施結果

- (1) 意見提出者数及び意見の件数 9人（意見数19件）
- (2) 意見の提出方法

回収箱	メール	FAX	持参	郵送	合計
7人	2人	—	—	—	9人

- (3) 意見者の属性等

ア 性別

男性	女性	未回答	合計
7人	2人	—	9人

イ 年齢

40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
—	1人	3人	5人	—	—	9人

ウ 住所

市内	未回答	合計
9人	—	9人

(4) 意見の分類

分類	件数
フェーズ1「人口減少時代の住生活支援に向けたチャレンジ」に関する意見	5件
フェーズ2「安全・安心で良質な住まいづくり」に関する意見	4件
フェーズ3「次代につなぐ住宅ストックの再生と創出」に関する意見	3件
その他	7件
合計	19件

(5) 計画への反映状況

区分	略語	意見数
計画に意見を反映するもの（一部反映するものを含む）	意見反映	1件
意見の趣旨が計画に含まれるもの	趣旨含む	12件
計画は修正しないが、今後の参考又は検討課題とするもの	参考	2件
その他（意見募集の趣旨と異なるものなど）	その他	4件
合計		19件

(6) 意見の要旨及び市の考え方 別紙のとおり

フェーズ1 「人口減少時代の住生活支援に向けたチャレンジ」に関する意見

NO.	意見要旨	反映状況	市の考え方
1	保育園等の利用や補助制度など、安心して2人、3人の子育てができる環境を整備していただきたい。	趣旨含む	安心して子育てができる環境の整備につきましては、フェーズ1目標1(2)③「ひたちらしさ」を象徴する施策の紹介と情報発信の取組の強化(本編別冊P31~32)に記載のとおり、子どもと子育て家庭に対する切れ目のない支援を行うため、妊娠から出産、子育て期のライフスタイルや多様化するニーズに対応した子育て支援策を推進するとともに、安心して子育てができる環境の整備促進のため、きめ細やかな相談支援や子育て支援拠点事業の充実を図ってまいります。
2	フェーズ1目標1に掲げられている「コミュニティ活動を支える人材の育成・確保・情報発信」に、戸建て住宅だけではなく、民間アパートの世帯を含めた視点を加えていただきたい。	趣旨含む	コミュニティ活動を支える人材の確保・育成につきましては、住宅の形態に関わらず、市民の方全てを対象としております。フェーズ1目標1(2)④「コミュニティ活動を支える人材の育成・確保や情報の発信」(本編別冊P32)に記載のとおり、コミュニティ活動に参加するとポイントが付与されるアプリを活用し、活動参加のきっかけづくりや新たな担い手の発掘につなげるとともに、SNSによる情報発信などを通して、コミュニティ活動に対する市民の理解を深めてまいります。
3	フェーズ1目標2の「移住・定住の促進と転出超過の抑制」について、特に、市内事業所の女性従業者が本市に定住したくなる具体的な施策がない。	趣旨含む	市内事業所の従業者が本市に定住したくなる施策につきましては、フェーズ1目標2(2)「本市に居住し就業しやすい環境創出への取組の推進」(本編別冊P37~P39)に記載のとおり、特に女性が住みやすく、働きやすい環境づくりを進めるため、市内企業に対する女性の求人・採用枠の更なる拡充への働きかけや、職場のトイレの洋式化や更衣室の整備費用などの補助を行うほか、女性・若者の雇用創出等に向けた取組を推進してまいります。
4	私の住む学区内に生鮮食品を扱うスーパーがないことから、商業施設の誘導を検討すべきだと思う。	趣旨含む	商業施設の誘導につきましては、フェーズ1目標2(2)②「コンパクトなまちづくりの推進」(本編別冊P38)に記載のとおり、立地適正化計画に定める都市機能誘導区域及び居住誘導区域に、医療・商業・福祉などの各種都市機能や居住を誘導するための施策に取り組むとともに、土地利用の動向に応じた用途地域の見直しを検討してまいります。
5	高齢者が多く住む山側住宅団地に若い世代の居住を誘導することは、若い人の精神的、肉体的な負担がかかると思うので、スポーツ広場等の市民が活用できる施設を作るほうがよいと思う。	趣旨含む	山側住宅団地の今後のあり方につきましては、フェーズ1目標3「山側住宅団地などの大規模団地の活性化」(本編別冊P40~P41)に記載のとおり、山側住宅団地への若い世代の住み替え促進や住宅団地における交通手段の確保などに取り組んでいるところですが、引き続き、持続可能な団地のあり方について検討してまいります。

フェーズ2 「安全・安心で良質な住まいづくり」に関する意見

NO.	意見要旨	反映状況	市の考え方
6	良質な住宅を提供するためには、商業施設や医療機関等への利便性を考えた道路計画とするとともに、ゼロカーボンを目指した住環境を促進できるよう、県と共同して補助金を多く交付するべきである。	趣旨含む	良質な住宅の提供につきましては、フェーズ2目標2(2)「若い世代のニーズに合った魅力ある住宅整備の促進」(3)「地球環境にやさしい住宅整備の促進」(本編別冊 P41~42)に記載のとおり、日立市都市計画マスタープランに基づき、日常生活に必要な機能の集約、幹線道路の整備による道路ネットワークの強化、医療・福祉を始めとした多様な機能の充実を図るとともに、ひたちゼロカーボンシティビジョンに基づき、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)に対する支援を行い、環境に配慮した住宅の普及促進に取り組んでまいります。
7	高齢者住宅に関する居住改善支援の充実化を進めていただきたい。	趣旨含む	高齢者住宅に関する居住改善支援の充実化につきましては、フェーズ2目標2(1)「ダイバーシティに対応した『人にやさしい住まいや住環境』整備の促進」(本編別冊 P42)に記載のとおり、住宅のリフォームに対する助成やサービス付き高齢者向け住宅の情報提供、グループホームの整備促進など人にやさしい住まいや住環境の整備への支援の充実を図ってまいります。
8	台風による被害について、「治水」や「河川」の計画と併行して住宅施策も実施されるのか。	趣旨含む	台風による被害につきましては、フェーズ2目標1「安全・安心を備えた住まいの確保」(本編別冊 P42~P43)に記載のとおり、住宅所有者が行う浸水対策への支援を併行して実施することで、安全・安心な住まいづくりを推進します。
9	フェーズ2目標2の「良質な住宅の提供と居住安定の確保」に、市内の民間アパートの概数を含めた、これからのあり方について加えていただきたい。	意見反映	<p>平成30年住宅・土地統計調査によると、市内の民営の共同住宅は12,680戸あると推計されております。今後、少子高齢化の進行や人口減少に伴い、賃貸アパートの空き室が増加することが予想されることから、これからのあり方の一つとして住宅ストックの活用が考えられます。</p> <p>また、同調査によると、賃貸アパート入居者の約3割は、若年層や子育て世帯であることから、若い世代の更なる移住・定住につながるよう、入居に対する支援策を検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、以下のとおり案の一部修正を加え反映させていただきました。</p> <p>➡ 本市の民営の共同住宅数及び入居者の世帯状況に関する統計データ等を掲載(本編別冊 P45)</p> <p>➡ 「①若い世代に向けた住宅供給の支援」の方向性の標記を修正(本編別冊 P47)</p> <p><修正前> 若年層や子育て世帯にとって転入・定住につながる魅力的な住宅ストック整備の支援を図るため、山側住宅団地の住み替え促進、住宅取得や中古住宅のリフォーム等の助成を行います。</p> <p><修正後> 若年層や子育て世帯にとって転入・定住につながる魅力的な住宅ストック整備の支援を図るため、山側住宅団地の住み替え促進、住宅取得や中古住宅のリフォーム等の助成を行うとともに、賃貸アパートなどへの入居に対する支援策を検討します。</p>

フェーズ3 「次代につなぐ住宅ストックの再生と創出」に関する意見

NO.	意見要旨	反映状況	市の考え方
10	住宅ストックの再生と創出に関しては、利便性の高い地域に特化して対応してはどうか。	趣旨含む	<p>新たな住宅ストックの供給につきましては、フェーズ3目標1「新たな住宅ストックの供給」（本編別冊 P51～P53）に記載のとおり、利便性の高い JR 常磐線5 駅周辺や BRT 沿線等へのまちなか居住を誘導するため、宅地供給促進の取組を進めるとともに、駅周辺のマンション建設を促進するための取組を推進してまいります。</p> <p>また、既存住宅については、フェーズ3目標2「既存ストックの有効活用」（本編別冊 P54～P57）に記載のとおり、市内全域に点在する空き家を含む中古住宅の質向上への支援や流通促進を図ってまいります。</p>
11	市内には戦災を免れた、古くて貴重な建物があるように感じている。それをいかし、守っていくことがまちの魅力向上の核となり、コミュニティの形成にもよい影響を与えると考えられるため、古い建物を現代に活かすためのリノベーション支援や、断熱改修等の支援について検討していただきたい。	趣旨含む	<p>古い建物を現代に活かすためのリノベーション支援や、断熱改修等の支援につきましては、フェーズ3目標2「既存ストックの有効活用」（本編別冊 P54～P57）に記載のとおり、住宅の性能向上に資するリフォームや、地域の活性化につながる空き家のリフォームに対する支援を引き続き行うほか、空き家など既存住宅を活用したい事業者や移住・定住希望者と空き家所有者をつなぐマッチング制度の構築を検討してまいります。</p>
12	<p>親世帯が亡くなった後、子ども世帯は市外に住んでいるため実家に住まず、また、実家を解体して土地を売却するケースが多くみられる。</p> <p>日立市の未来を考えると、早急に対策を考えていただきたい。</p>	趣旨含む	<p>親世帯が亡くなった後、子ども世帯が実家を解体して土地を売却するケースにつきましては、フェーズ3目標2「既存ストックの有効活用」（本編別冊 P54～P57）に記載のとおり、地域の活性化につながる空き家のリフォームに対する支援を引き続き行うほか、空き家など既存住宅を活用したい事業者や移住・定住希望者と空き家所有者をつなぐマッチング制度の構築を検討してまいります。</p>

その他

NO.	意見要旨	反映状況	市の考え方
13	各々の取組み施策について、具体的な進捗状況の見える化を図ってほしい。	趣旨含む	施策の具体的な進捗状況の見える化につきましては、第5章の「4 フェーズに向けての指標」（本編別冊 P62）に記載のとおり、各施策の目標の達成状況を把握・評価するため、各フェーズの施策に対応した目標指標を設定しております。なお、確認の際は、定量的な成果指標による評価に限らず、社会情勢等の変化を踏まえた幅広い視点から検証を行ってまいります。
14	楽しめる街づくりという観点での施策も希望する。	参考	楽しめるまちづくりの観点を取り入れた施策につきましては、本市の上位計画・関連計画との連携を図りながら、住生活の向上の促進に向けた取組を進めてまいります。
15	耐震診断の際に、改修やリノベーションについても相談できるようにするため、市内の事業者だけではなく、県内に事務所の所在地がある設計事務所等にも耐震診断及び改修の補助に携わっていただけるよう、補助対象となる事業者を拡大してほしいと望みます。	参考	耐震診断補助の対象事業者の拡充につきましては、耐震診断とあわせてリノベーションの相談ができることは、中古住宅を利活用する上で効果的な取組と考えておりますので、今後、相談者のニーズや助成制度の利用状況などを踏まえて検討してまいります。
16	計画策定に意気込みが感じられないため、若手をもっと元気を持って進めてほしい。	その他	日立市住生活基本計画の改定に当たりましては、策定委員会を設置し、学識経験者や関係団体のほか、特に若い方の意見を計画に反映するため、女性や学生なども参画し、今後 10 年間の住宅政策を見据え、多角的な視点で審議しております。 今後、各施策の実施に向けて、関係課職員一丸となって取り組んでまいります。
17	日立市総合計画の「まちづくりの基本理念」や「目標とする将来都市像」は、素晴らしいです。	その他	日立市総合計画に掲げた各施策につきましては、全庁一丸となって戦略的に取り組むことで、将来にわたって活力のあるまちの実現を目指すとともに、誰もが幸せを実感できるまちづくりに取り組んでまいります。
18	市民意識調査における「住宅・住環境に関する現状の満足度、今後の重視度」について、地区別の傾向を知りたい。	その他	市民意識調査における「住宅・住環境に関する現状の満足度、今後の重視度」の地区別の傾向につきましては、子育て世帯、高齢世帯等の家族構成別、中心市街地の居住者、山側住宅団地の居住者等の居住地域別の分析資料を本計画の参考資料として掲載を予定しております。
19	市の耐震診断の助成制度の申請方法がわからない。 市外から日立市に来て 50 年以上経つが、日立市は住みやすい。	その他	「日立市安全・安心・住みいる助成制度」をご案内いたします。 日立市が住みやすさに加え、にぎやかで活気のある町になれるよう、関係課職員一丸となって取り組んでまいります。